



グランシップマガジン
[ジー] vol. 48
GRANSHIP magazine
Autumn 2010



series わが羅針 第48回

小曽根 真

SPECIAL-2

いま、気になるのは
ローズ!

coming soonII

ムノツイル・ブラス
~Magic Moments~

次世代を創る顔

映画監督 平林 勇

しずおかアーティスト・リレー ㊦

アーティスト 杉田 達哉

村松友視の文化漫遊㊦

SPECIAL-1

文楽を観に行こう!

まずは、その楽しみ方を山川さんに聞こう!



「Shikasya」(原題)

今年5月、世界三大映画祭のひとつ、第63回カンヌ国際映画祭の監督週間部門で選出された作品。地中に埋められた母子を捜索隊が発見するまでの10分間のドラマで、女性の胎盤を乾燥させた漢方薬「紫荷車」からタイトルをつけたという。

出演／尾野真千子、堀部圭亮

映画監督

平林 勇

世界の賞につながっている面白さ。だからこそ、こだわるのは世界基準。



初期の頃から映画祭を意識して作品を作ってきた。「ショートフィルムは長編に比べて手軽に作れる。しかも日本の田舎で作った作品でもどんどん勝ち抜いていけば、カンヌ映画祭やアカデミー賞にまでつながっている。そこが凄いなあと思うんです。」

だからこそ、世界の人に伝わる作品。世界基準にこだわっている。今年はベルリン、カンヌと国際的な

映画祭に出品。日本のCM業界では彼を知らない人はないが、世界の短編映画界でも彼は注目の人だ。が、「賞を獲らなければ日本ではさっぱり」という。そろそろ長編を、という思いも湧いている。

「カンヌで北野武監督がレッドカーペットを歩いているのを見たとき、いいなあ(笑)と。長編でレッドカーペットは、やっぱり憧れですね。」

ひらばやし いさむ

1972年静岡県島田市生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。(株)ライトパブリシティでのグラフィックデザイナーを経て、フリーのCMディレクターに。CMの仕事の傍ら、2002年より短編映画を作り始め、『TEXTISM』(2003)が、イメージフォーラムフェスティバルで大賞受賞。『HELMUT』(2003)がタイ短編映画祭のグランプリ受賞。『ドロン』(2006)で釜山アジア短編映画祭、グラナダ国際短編映画祭のグランプリ受賞。『BABIN』(2008)ロカルノ国際映画祭で審査委員賞と学生審査員賞のW受賞。さらに「aramaki」(2009)がベルリン国際映画祭短編部門ノミネート。「Shikasya」(2010)がカンヌ映画祭監督週間にて招待上映。世界の短編映画界で注目の存在だが、日常の95%はCMなどの仕事に費やしている。

Contents

次代を創る顔④⑧ 2
映画監督 平林 勇

しずおかアーティスト・リレー⑩ 3
アーティスト 杉田 達哉

SPECIAL-1 特集 4

文楽を観に行こう!

まずは、その楽しみ方を山川さんに聞こう!

coming soon I 9

しずおかちゃっきり寄席

coming soon II 10

ムノツイル・ブラス ~Magic Moments~

series わが羅針 第48回 11

小曾根 真

「ショパンの思いを弾く。」

SPECIAL-2 小特集 16

いま、気になるのはローザス!

ローザス『3Abschiedドライアップシート(3つの別れ)』

Report 20

上岡敏之のオーケストラ塾 音楽人生、ワーグナーを語る

essay 村松友視の文化漫遊③ 22

「釣り舟で木遣を聴く」 画/風鈴丸

information a-go-go 24~30

●公演情報

- Just Finished! / 「子供のためのシェイクスピアカンパニー」
- プレゼント ●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
- TRY GRANSHIP
- SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room



(2009年1月制作)

表紙アート●望月 通陽 作品タイトル:『蘭の信者』
自然の中に彫刻を置くと、すべての作品は人間の徒勞、ちっぽけな思い上がりに過ぎないと容易に知れる。彫刻は自身にふさわしい自然を内に包むより他生きられないし、またそれこそが本望なのだとと言えるだろう。自然の中に作品が消失することを願ったダダイスト、アルプの姿勢は、だからデザインから一番遠い所にあった。それは芸術家として持ち得る最大の願いなのだった。

しずおか

30

アーティスト・リレー

アーティスト
杉田 達哉

次回
画家
鷺巣
瑛環さん



「月の声」2010年
アクリル/紙 サイズ/天地410mm×左右310mm

覚醒の森、酩酊の海へ……。
絵を描く喜びをそんな風に
言うことが出来るかもしれません。
制度化された美の規範や、
思考の道具としての作品から離れ、
時代を視つめる醒めた意識と、
観る快楽に酔いしれる豊かな感情が、
共に満足できる絵を描きたいと思っています。

スギタ タツヤ●1954年静岡市生まれ。武蔵野美術大学卒業。現在、常葉学園大学造形学部教授。渋谷西武、静岡西武、京橋・ギャラリー椿、本郷・ギャラリー愚恰他個展多数。山田太一/小川国夫/高橋英夫/曾野綾子/遠藤周作/唯川恵/河合隼雄/片岡直子/安達千夏/レイ・ブラッドベリなど、装幀への起用も多数。静岡・教覚寺壁画制作。雑誌「銀花」2008年春号、「もっと自由に」で特集。2010年10月、静岡松坂屋にて個展予定。

人形浄瑠璃 文楽

まずは、その愉しみ方を山川さんに聞こう！

文楽を観に行こう！



おかる・勘平 仮名手本志臣蔵〜身売りの段〜 (写真協力/財団法人 文楽協会)

元NHKアナウンサーの山川静夫氏といえ
ば、能楽・観世流の祖、観阿弥最期の地である
静岡浅間神社の神主の家に生まれ、大学在学中
より歌舞伎の声色を得意とし、大阪放送局時代
には文楽劇場に通い詰め…と、単なる“好き”
レベルを遙かに凌ぐ伝統芸能通曉の人だ。

かなり奥深いところもご存知ながら、その面
白さを平たく語ってくれるのも山川氏ならではの
魅力。ならば、十月の文楽上演にあたり、入
門者向けに見どころや聴きどころをおしえてい
ただこう——というわけで、まずは、その名称
についての話から。それを「文楽」と呼んだり、
「人形浄瑠璃」と呼んだりするのはなぜなのか。

「人形芝居の中には音楽を必要とするものが
あり、その代表的なものが語りの音楽「浄瑠璃」
に合せて人形を操る「人形浄瑠璃」です。もた
は素朴な芸能でしたが、やがて竹本義太夫が始
めた義太夫節が人気を得て、大阪の道頓堀西に
「竹本座」の櫓を上げ、さらに近松門左衛門とい
う優れた作家が出現し、名作を立て続けに発表
していきます。そんな中、寛政の頃（一七九〇年）
に、淡路島の植村文楽軒という人が大阪で人形
浄瑠璃の興行を始め、この文楽軒の名前から人
形浄瑠璃を「文楽」と呼ぶようになったのです」
山川氏と文楽の出会いだが、それは昭和
二十九年の新橋演舞場だったという。

「私はその頃、歌舞伎に取り憑かれた大学生
で、毎日のように歌舞伎座に通っていましたから、
文楽には目もくれませんでした」

ところが、昭和三十七年にNHK大阪放送局
勤務となり、それからの六年間は文楽漬け。「運



太郎冠者 釣女 (写真協力/財団法人 文楽協会)



お初・徳兵衛 曾根崎心中〜天満屋の段〜 (写真協力/財団法人 文楽協会)

のよいことに文楽の放送番組の司会は、私が一手に引き受けていましたから、道頓堀の朝日座は自分の体の一部のような「文楽界を代表する人々へのインタビューを通して交友関係は広がり、その芸談から造詣を一層深めたのもこの頃だ。

「文楽の楽しみ方は人それぞれですが、どんな人でも回を重ねることに気づくのは、「三位一体」の面白さではないでしょうか」文楽には二つの三位一体の感動があり、一つは、「太夫」〈三味線〉(人形)の三者が互いに競い合いながらも息を合わせる感動。もう一つは、人形遣いの〈主遣い〉(左遣い)〈足遣い〉の一体となった人形表現の感動であるという。

「私も最初は、ただ漫然と観ているだけでした。けれども後からだんだんわかってくることが多いです。三味線にしても当初は右手のバチの動きだけに目が行っていたのが、やがて左手にも注目するようになり、糸を押さえる指の力や柔軟性にも関心を持つようになり、その観察眼の進歩が自分でもうれしく、さらに深く三味線を聴くようになったものです。一度で全部わかろうとせず、まず出会ってみることだと思います」

山川静夫

1933年静岡県静岡市生まれ。静岡高校、國學院大学文学部を経て、NHK入局。74年より「紅白歌合戦」の司会者を9年連続で務めたのはじめ、『ひるのプレゼント』『邦楽百選』『ウルトラアイ』など、芸能、科学、教養番組などを担当。94年にNHKを退社後はエッセイストとして活躍中。



文楽の三業



「太夫と三味線は夫婦のよう、ピッチャーとキャッチャーのようにつかず離れず力を合わせて演奏します。それぞれの役割は複雑ですが、昔から 太夫は情を語る 三味線は模様で弾く」と教えられているようです。そこに人形遣いが加わった三位一体の芸能、それが文楽です」

舞台の上の三位一体。



(写真協力/財団法人 文楽協会)

人形遣い

文楽は、世界でも珍しい、人形一体を三人で操る(三人遣い)が基本。語り、三味線と呼吸を合わせたこまやかな表現、華麗な技は、文楽ならではの。

三味線

文楽では、低く力強い音色をもつ太棒三味線を使用。他の音楽の伴奏とは違い、音楽性よりも情景を描き出し、心情を表現することに重点を置く。

太夫

登場人物のすべてのセリフはもちろん、情景や事件の背景までを語る。長いもので90分近く、登場人物も多ければ十数人に上る。



(国立文楽劇場 蔵)

文楽の人形



「文楽の人形は、その動かし方で世界中の人たちをびっくりさせています。とにかく一つの人形をピタリと息を合わせて動かすことだけでも私は感動します。こんな凄いものが存在することは日本の誇りと、いつでも過言ではないでしょう。」

人形、三人遣いの妙。



(写真協力/財団法人 文楽協会)

足遣い

主遣いの後ろで中腰に構え、両手で人形の両足の運びを操作する。

主遣い

袴を着けて、中心となって人形を動かす。左手で首(かしら)の胴串を握って人形全体を支え、右手で人形の右手を操る。

左遣い

主遣いの左側に立ち、自分の右手で人形の左手を操作する。

文楽の舞台



「文楽の舞台には、人形にとって地面の線にあたる（手摺）というものがああり、さらに人形遣いが動くために特別な舞台機構となっています。私が初めて文楽を観たのは、当時百円の三階三等席で、見下ろすと人形がフワフワと宙に浮いて見え、まことに奇妙でした」

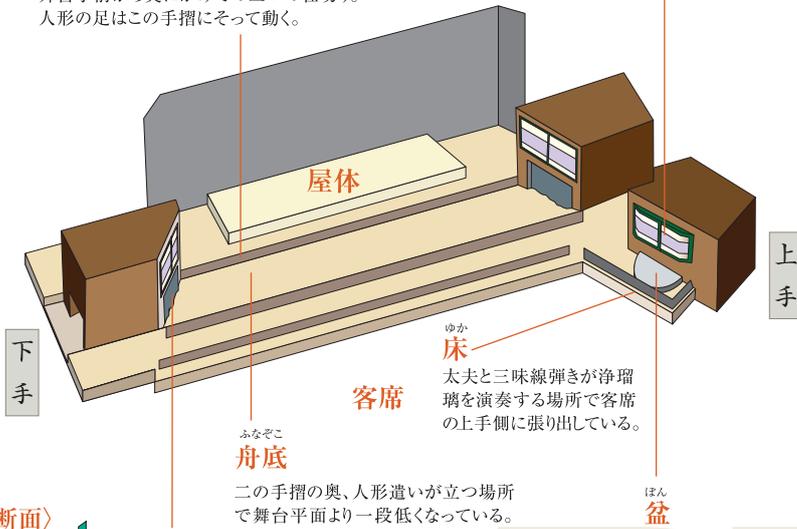
人形の動きのための特殊なつくり。

てすり 手摺

舞台手前から奥にかけての三つの仕切り。人形の足はこの手摺にそって動く。

みすうち 御簾内

小幕の上にある簾のかかった場所。上手側は経験の浅い太夫と三味線が語る場。下手側は囃子が演奏する部屋で場面の雰囲気盛り上げる。



下手

上手

ふなぞこ 舟底

二の手摺の奥、人形遣いが立つ場所。ここから人形が出入りする。

ゆか 床

太夫と三味線弾きが浄瑠璃を演奏する場所で客席の上手側に張り出している。

ほん 盆

文楽廻しとも呼ばれる回転式の装置。太夫、三味線はこれに乗って登場。交代の際に回転して入れ替わる。

こまく 小幕

上手と下手にある黒い幕。ここから人形が出入りする。

〈舞台断面〉



ここで人形を動かすと二の手摺に沿って歩いているように見える。



義経千本桜 同行初音の旅(写真協力/財団法人 文楽協会)



ゆかほん 床本

太夫が舞台で使用する台本。1ページ5行がきまり。

(国立文楽劇場蔵)



けいごと 景事

能狂言や歌舞伎から独立したものの。音楽的で舞踊の要素が強く、華やかでスピーディーな小品。例/釣女(P8参照)、五条橋、団子売り



せわもの 世話物

身近に起こった事件や物語を題材としたもの。庶民の日常が描かれている。例/曾根崎心中(P8参照)、冥土の飛脚、心中天網島ほか

じだいもの 時代物

公家や武家社会に起こった事件や物語を題材にしたもの。平安から戦国時代を時代背景としている。例/仮名手本忠臣蔵(P8参照)、義経千本桜、妹背山婦女庭訓ほか



文楽の演目

「世話物は、江戸時代の現代劇。当時の人々にとって世話物の芝居は当然、身近です。原題の新聞やテレビと同じようなものですから、近松門左衛門の世話物浄瑠璃の第一作『曾根崎心中』は我が事のように感じたはずですよ」



かしら 首

人形頭部のこと。現在、文楽で使用されている首は、約40種あるといわれる。

(写真協力/財団法人 文楽協会)

演目の種類は、大きくこの3つ。

昼も、夜も、見逃せない！
名作中の名作が今年も
グランシップにやってくる。

人形浄瑠璃「文楽」

10/10(日) チケット発売中!

グランシップ 中ホール・大地



「曾根崎心中」



「釣女」



「仮名手本忠臣蔵」

全席指定／一般 3,500円 学生 1,500円 ※昼夜通し券 一般 6,300円 学生 2,500円

昼の部 13時30分 開演 (13時00分 開場)

「仮名手本忠臣蔵」～五段目二つ玉の段～、～六段目身売りの段・早野勘平腹切の段～
「釣女」

夜の部 18時30分 開演 (18時00分 開場)

「曾根崎心中」～生玉社前の段～、～天満屋の段～、～天神森の段～



文楽に興味が湧いたところで、一体どこで観られるというのか——という声を聞く。そんな人にぜひ、覚えておいてほしいのが今回の公演だ。静岡県内で唯一、文楽を上演しているのがグランシップで、2005年の初公演以来、すっかり毎秋恒例のお楽しみになっている。そして、今回もまた名作揃い。昼の部の『仮名手本忠臣蔵』は、『昔原伝授手習鑑(すがわらでんじゆてならいかがみ)』『義経千本桜(よしつねせんぼんざくら)』と並ぶ人形浄瑠璃の三大傑作のひとつで、かつては劇場が経営難に陥った際の特効薬として、芝居の独参湯と呼ばれたほどの人気の演目。これは江戸城内で刃傷事件を起こし切腹した浅野内匠頭の家臣による仇討ち事件を題材とした、俗にいう「忠臣蔵」の話で、頭に「仮名手本」と付いているのは、赤穂浪士47士というは(仮名)47文字をかけたといわれている。当時の作品の常として登場人物の名は変えてはいるものの、大星由良之助が大石内蔵助であるというのは誰の目にも明らか。ただし、今回上演するのは五段目と六段目。おかると勘平の悲運の物語。史実にはないフィクションでありながら、忠臣蔵屈指の名場面だ。

また、昼の部のもう一本『釣女』は、狂言『釣針』をもとにした常磐津を義太夫にうつしたもので、明るく軽妙なやりとりが笑いを誘う名作である。

さて、夜の部では、海外でも絶賛される『曾根崎心中』を上演。元禄16年(1703)に大阪・曾根崎の森で起きた心中事件を題材とした近松門左衛門による最初の世話物で、この作品の後、“が流行りとなった。物語はシンプルながら、純粋な愛が深い感動を呼ぶ作品である。

語り、三味線、人形を見事に協調させる芸。世界に誇る日本の伝統芸能にふれる絶好の機会は、もうまもなく静岡にやってくる。

「仮名手本忠臣蔵」

かなでほんちゆうしんぐら

～五段目二つ玉の段～

～六段目身売りの段・早野勘平腹切の段～

■あらすじ 主君の刃傷沙汰の際、腰元おかると密会していた早野勘平。非を悔いながらおかるとの親元に身を寄せ、家老大星由良助による亡君の仇討ち参加を望むが、それは大金が必要だった。そのためおかるとの父は娘を祇園へ売り、前金を懐に夜道の帰途、悪者に斬られ、財布を奪われてしまう。その悪者を猪と誤って射殺したのが勘平。闇の中で、手に触れた財布をつい我が物に……。帰宅後、舅の財布と知り愕然。おかるとが祇園へ去った後、運び込まれた舅の遺体。勘平の態度から真実を察して勘平を責める老母。舅殺しを知った浪士からも非難され、たまりかねて勘平は切腹。直後に無実が明らかになり、仇討ちの連判状への血判を許されるも「魂魄は留まって仇討ちのお供をする」と言い残し、息絶える。勘平の苦悩と無念、残された老母の悲嘆が胸を打つ名場面だ。

「釣女」

つりおんな

■あらすじ 独身の大名が妻を授けてほしいと、同じく独身の太郎冠者とともに西の宮(兵庫)の恵比寿様へと願かけに詣でる。すると早速「妻を釣れ」と釣竿を授かる。大名が試みると針先に絶世の美女が釣れた。仲睦まじい二人の姿に大急ぎで竿を太郎冠者も釣り糸を垂れると被衣姿の女性が登場。大喜びでその被衣を取ると……!!

「曾根崎心中」

そねぎきしんじゆう

～生玉社前の段～

～天満屋の段～

～天神森の段～

■あらすじ 手代徳兵衛は天満屋の遊女お初と愛しあう仲。ところが店の主人の縁談を断つたため、怒りを買い、大坂を開放すると迫られる。さらに主人に返すべき金を友人の九平次に騙し取られ、そのうえ公衆の面前で罪人呼ばわりされ、暴行されて死を決意。徳兵衛と離れては生きられないお初は、恋人を打掛の裾に隠して天満屋の縁の下に忍ばせ、店を訪れた九平次の中傷から彼をかばいながら、一緒に死ぬ覚悟を足先で徳兵衛に伝える。夜中、二人は店を抜け出し、明け方、曾根崎の森へと向かう。

静岡から、お茶の魅力を世界に発信!

10月28日(木)~10月31日(日)開催!
会場:グランシップ

「O-CHAは世界語」をテーマに世界各国からお茶に関連する「人」、「もの」、「情報」が静岡に集合。お茶の魅力を静岡から世界に発信し、「より国際的に」と28か国・地域からの参加を目標としています。また、「より参加型に」と日ごろ体験できない世界のお茶の試飲など、興味深いプログラムも。



東京に暮らす静岡県人を笑いで癒し、至極の話芸で元気づけようと5年前の秋に始まった『ちやつきり寄席』。国立演芸場での旗揚げ公演では、他の都道府県にはない活動としてマスコミでも取りあげられ、その後、順調に回を重ね、昨年は地元・静岡に凱旋公演を果たした。毎度、郷土ゆかりの話題で盛り上がり、とりわけ都内公演で劇場入り口にて振る舞われるお酒やお茶の試飲サービスが好評だが、今秋は郷土静岡にて『第4回世界お茶まつり』が開催されるとなれば、再集結も「喜んで！」の構え。お茶にまつわる演題を用意しているというウワサが早くも耳に届いている。世界に誇るお茶どころは、芸どころ。歌はちやつきり節へなら、この秋は『しずおかちやつきり寄席』でお楽しみを、というわけだ。

お茶ドコロは、芸ドコロ。
舌尖なめらかに「ちやつきり」な一席を。



しずおかちやつきり寄席

十月三十日(土)

午後一時三十分開演 午後一時開場

中ホール・大地

チケット発売中

*未就学児入場不可

一般S席 二、五〇〇円 一般A席 一、五〇〇円
学生S席 一、五〇〇円 学生A席 八〇〇円



柳家花いち (落語)

昭和57年生まれ。浜松市立富塚中学校、誠心学園浜松開誠館高校出身。岐阜聖徳学園大学卒業後、平成18年柳家花緑に入門。



林家ぼたん (落語)

昭和55年生まれ。浜松市立江南中学校、静岡県立浜松工業高校出身。平成14年、日本大学卒業後、林家こん平に入門。平成17年、二ツ目。



神田翠月 (講談)

昭和18年生まれ。浜松市立積志中学校、静岡県立浜名高校出身。43年、田辺一鶴に入門。51年、真打ち、翠月を名乗る。55年、二代目神田山陽門下となる。



三遊亭楽之介 (落語)

昭和30年生まれ。小山町立小山中学校、静岡県立御殿場南高校出身。53年、五代目三遊亭円楽に入門。61年に真打ち昇進、金也を名乗る。平成9年、楽之介に改名。



平野啓子 (語り部)

沼津市出身。「NHKニュースおはよう日本」のキャスターや大河ドラマ「毛利元就」などの語りを務め、現在、語り芸術家として活躍中。文化庁芸術祭大賞、松尾芸能賞優秀賞、ギャラクシー賞奨励賞等受賞。



入船亭扇遊 (落語)

昭和28年生まれ。熱海市立多賀中学校、静岡県立伊東高校出身。47年、九代目入船亭扇橋に入門。60年に真打ち昇進。NHK新人落語コンクール優秀賞、国立劇場若手花形新人会金賞、文化庁芸術祭賞。

コトの始まりは、約80年前開業のウイーンの居酒屋「ムノツイル・イン」。その居酒屋で1993年頃、ウイーン国立音楽大学に通っていた7名が意気投合して、即興のジャムセッションとなった。普通なら酔っぱらいのご愛嬌…で終わるところが、そのご愛嬌の域を遙かに超えた演奏が話題を呼び、ついに結成したのが「ムノツイル・ブラス」だ。

今やウイーン・フィルやベルリン・フィルのソリストたちが「凄いヤツら」と舌を巻くほどのブラス・アンサンブルにまで成長。メンバーの多くは、一流オーケストラ出身。だから演奏テクニックは折り紙つき。でも、それだけじゃ普通の「うまいアンサンブル」に過ぎない。

彼らの魅力は唯一無二のエンターティナーである、ということに尽きる。とにかく笑いのセンスが抜群なのだ。しかもオペラ歌手が悔しがるほどの歌唱力も持っていたりする。完璧な演奏があつて、笑いがある。熱狂し、興奮し、感動しながら、お腹を抱えて笑ってしまう…かつてそんなコンサートがあつただろうか。プログラムだって型破りだ。ジャズあり、クラシックあり。今回はマイケル・ジャクソンやステイヴ・ヴィー・ワンダーのあの曲もラインナップ。演奏も、楽しさも、世界最高のブラスをぜひお見逃しなく。

ムノツイル・ブラス

~Magic Moments~

10/16[±]

17:30 開演 (17:00 開場)

グランシップ 中ホール・大地

チケット発売中!

S席4,500円 A席3,500円 学生2,000円 ※未就学児入場不可

Program

- ♪マジック・モーメント
- ♪センチになって
- ♪ロンリー・シェパード
- ♪ウェスタン
- ♪スーパーステーション
- ♪マイ・ウェイ
- ♪ムーンライト・セレナーデ
- ♪トランペット協奏曲(アルチュニアン)
- ♪荒野の七人
- ♪トロイメライ
- ♪スリラー
- ほか多数

*曲目及び出演者は、都合により変更になる場合があります。

完璧! だげど型破り!
笑いすぎにご用心!?



デアハルト・フュッスル (トロンボーン)

トーマス・ガムン (トロンボーン)

ロベルト・ローター (トロンボーン)

レオンハルト・パウル (トロンボーン)

ローマン・リンデベルガー (トロンボーン)

ソルタン・キムス (トロンボーン)

ヴァイルフリート・ブリンダ (トロンボーン)

小曾根 真

シヨパンの思いを弾く。

「どんな音楽も装飾の部分をどんどん削ぎ落としていくと、最終的にはその人の思いに辿り着くんですね。音楽家は得てしてディテールに惑わされがちですが、核心をとらえた上で、あなたならどう弾きますか、とそう問われているように僕は思うわけです。」

デイス・イス・ポーリツシュ。

世界的なジャズピアニストだからといって容易に通用するほど、クラシック界は甘くない。氏のそれが、本物であることは、名だたるコンダクターからの指名が絶えないことからよくわかる。その裏側にどれほど深い探求、考察があるうとも、大作曲家たちの音楽について眉間に皺を寄せず、楽しくしなやかに語る姿は、いつもの氏のまま。シヨパンとの世紀を超えた共演ともいえる、そんな秋のライブがますます楽しみになった。

——シヨパンの故郷ポーランドでのシヨパン・ライブはいかがでしたでしょうか。

「僕のような即興スタイルのシヨパンがどんなふうに見えるかというのは、

正直、怖さ半分、ワクワク半分でした。最初は面食らっていた人もいたと思うんですけど、それでも次第に僕の世界に入ってきてくれて…。よく休憩後に何人が客席に戻ってくるかというのが反応のバロメータになったりしますが、二部も一部と同じように演奏してもらえて、ダブル・アンコールもいただきました。」

——同じヨーロッパでも他国とは空気は違いましたか。

「お客さんの空気というよりも、ポーランド人のシヨパンへの思い入れが半端じゃないと思います。ポーランドの民族音楽をベースにしたマズルカなどがありますが、ポーランドの人にとってのシヨパンは、自分たちの大事なアンバサダーであり、信じられる大きな存在なのだと思いますね。」

——即興の詩人ともいわれるシヨパンの曲は、逆に即興演奏に向かないのでは、とも思っていますか。

「確かにシヨパンは相当即興ができた人ですね。それもモーツァルトの時代の即興とはポキヤブラリーの量がだいぶ違います。ただ、どんな音楽も装飾の部分をどんどん削ぎ落としていくと、最終的にはその人の思いに辿り着くんですね。音楽家というのは得てしてデイトールに惑わされることが多いものですが、シヨパンのメロディから十連音符などを削ぎ落として、残った髓の部分だけを聴いた時、この人が何を考えていたかということに行き着く。その核心をしつかりとらえた上で、では、あなたならどう弾きますか、

と問われているように僕は思うわけです。今回のアルバムでアナ・マリア・ヨベックというポーランドのシンガーと共演していますが、彼女はワルシャワ・アカデミーでピアノとして勉強していたけれど、自分にとっての音楽はこう弾きなさいといわれることではないからと、卒業と同時にピアノを止めてしまった人なんです。その彼女が〈マズルカ2番〉の中で僕が弾いたあるフレーズを、デイス・イズ・シヨパン・デイス・イズ・ポーリツシユッ

だと言ったんですよ。それはイメージから沸き上がったとしてもシンプルな音の並びで、僕としてはシヨパンといえば、これ（速弾きのマネ）だと思っていたから、意外だったと同じ時にとっても嬉しかった。もちろんポーランドでもアカデミーの先生などは、冗談じゃない！というかもしれないし、装飾がいつぱい付いている細かい音符をどこまで自分で楽しんで弾くかということが、実はシヨパンの音楽を弾くのに一番大事なことだと思っています。でも、願わくば、あれじゃないものを弾きたい。その人の思いに通じる髓の部分さえしつかり掴んだら、あとは自分の言葉として弾けばいいんです。ほう、キミはそう行くのかと、シヨパンは喜んでくれるんじゃないかな。僕も曲を書いて、塩谷(哲)君なんかかいてくれて、なるほどそんな手があったかと嬉しくなることがあるんです。そういう意味では、シヨパンを弾いてから勉強したいことがいっぱい出てきましたね。そして、もう一度自分の音楽と向き合うことができたら、それが一番大きかったと思います。」

——シヨパンというと繊細で女性的なイメージがありますが、聴き込むほどに逆に男性的な部分を感じます。

「僕は非常に男性的な音楽だと思っています。それをレコーディングしながらとても感じ始めたんですよ。それで予定になかった〈ノクターン〉をアルバムに入れたんです。ジャズの側の人間からすると、ああいう曲は苦手。作られた美しさに見えるし、実際にそう弾く人が多いですからね。けれども、シヨパンにはポーランドに対する思いを強くして



今年4月リリースの『Road to Chopin』。「シヨパンはすごくロマンティストで、知性も深い。自分で悩んで、考えて、生きたシヨパンを、その音楽と向き合うことで感じることができました」

書いた曲がたくさんあって、そういう気持ちをもつて〈ノクターン〉を弾いたらどうだろうと。余分なものは何にも要らない。展開部もほとんど弾かないで、しかも思いつきりゆくり弾いて終わるというバージョンを作ってみようと。それであれを弾いたんです。」

二〇〇三年、人生の大転機。

——そもそもシヨパンに取り組もうと思われたのはどうしてですか？

「単純にシヨパンという人が見えなかったからです。モーツァルトはすごくよくわかる。僕と似ているんですね。愛情を込めて、アホ、といいたい。あんなに稼いで、あんなに借金して。僕は博打はしませんが、人を喜ばせることが好きな人はああいう落とし穴にはまりがちなんです。ペートル・ヴェンは聴いた瞬間に、即興できるものならやっつてごらん、変えられるものなら変えてみる、という言葉が聞こえる。そのくらい緻密でできていない音楽はない、宇宙的でさえあると思います。それがシヨパンと聞くと、パブルなロマン派のイメージから、すべてがフェイクという、ちよつと気持ち悪いきらびやかさを連想してしまう。けれどもポーランドに行つて、六〇年前まではこの国は地図にも載つてなかつたんだなどという話を聞いて、祖国で戦えず、フランスでアンバサダーとして生きたシヨパンが少しづつ見えてきたんですね。〈ノクターン〉といつても、彼が思い浮かべたのはバリの夜空ではなく、ワルシャワの空であり、ゲダンスクの空だった。もう、胸がいつぱいになりました。」

——小曾根さんとシヨパンに共通する形容詞というと、リリカルという言葉が思い浮かびますが、それぞれちよつと違うリリカルさのように感じます。

「それは喻えるなら、着ている服が違うからだと思います。芯にある音楽の感じ方は同じじゃないかな。そう考えていくと、コンポーザーはみんな同じじゃないかなと思うん

ジャズも、クラシックも、自らの楽しみ方は変わらないが、クラシックを弾くときは自然に背筋が伸びるという。「そういう音を出そうとするから、勝手に姿勢が変わるんだと思いますね。」

【おぞねまこと】

父、小曾根実の影響でジャズに興味を持ち、独学で音楽を学ぶ。12歳でオスカー・ピーターソンの演奏を聴き、ジャズ・ピアノを始める。1980年渡米。83年ボストンのバークリー音楽大学ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年NYカーネギーホールにてソロ・リサイタル。米CBSと日本人初のレコード専属契約。アルバム「OZONE」で全世界デビュー。同時にゲイリー・バートのグループに参加、ワールドツアー開始。この頃から多くのミュージシャンに曲を提供。2003年ゲイリー・バートとのデュオ作「ヴァーチュオーシ」でグラミー賞に初ノミネート。近年はクラシックにも本格的に取り組み、シャルル・デュトワ、尾高忠明、井上道義らの指揮のもと、数々のオーケストラと共演。08年にはシュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭に大植英次指揮北ドイツ放送交響楽団と出演し、公演の様子は全ヨーロッパに生中継された。精力的な演奏活動の傍ら、テレビ出演や舞台・ドラマ音楽を手がけるなど、幅広いジャンルで活躍。10年4月、ショパン生誕200年を記念し、アルバム「ロード・トゥ・ショパン」をリリース。11年度より国立音楽大学主任教授に就任予定。1961年兵庫県生まれ。



ですね。昔は演奏家がすべて作曲してしましたよね。ベートーヴェンも、モーツァルトも、バッハもそうでしょう。僕は今、クラシックの世界で時々お世話になってはいますけれど、コンダクターにもっと曲を書いてほしいと思いますし、ソリストももっと曲を書けばいいと思うんです。そうすればクラシックはとんでもなく発展するんじゃないですか。井上道義さんから、今、曲を書いているんだよ、なんてメールが来ると、ワクワクしますね。」

——そもそもクラシックの世界に足を踏み入れるきっかけは何だったのですか。

「それは尾高(忠明)さんが一緒に演りたいと言ってくれましたね。僕はてっきり(ガーシュインの)〈ラプソディ・イン・ブルー〉だと思ったらモーツァルトだったんですよ。モーツァルトは、チック・コリアと二台のピアノのためのコンチェルトを弾いたことがあって、その翌年くらいに武生国際音楽祭のフィナーレで同じ曲をベリー・シユナイダーと演ったんですけど、その時の彼の音がすごく素晴らしくて。それで音色にフォーカスして勉強するようになった頃、尾高さんから声がかかったわけです。好きな曲をといわれてもどれも知らないから、モーツァルトのコンチェルト全集みたいなものを買って、全部聴いて九番を選んだんです。二〇〇三年のことですね。人生の大転機ですよ。」

——その後、クラシックの勉強のために留学されていますよね。

「こんな無知な状態で弾いてはいけな

いとあらためて思ったんです。一人で弾いたモーツァルトのコンチェルトの音があまりにもジャズの音で、これは違うと。それでベリーにイーストマン(音楽院)に入れてくれと電話をしたんです。まったくジャズに触れない期間を作って、留学して彼のレッスンを受けて、指揮のクラスも取って、トラディショナルなハーモニーの勉強もしました。クラシック音楽の配列について、知りたくて知りたくてしよがなかつたんですよ。」

——クラシックを学んだことよって得た、ジャズの上でアドバンテージとは？

「それは大きいものがありますよ。音色の幅も、旋律の歌い方も広がりました。僕はジャズの人間の中では音の長さにうるさいほうだったんですけど、それ以上にクラシックの音の長さは綿密ですね。そして、曲の構成についての収穫も大きかったと思います。」

——最後に11月のグランシップでの公演に向けて、メッセージをお願いします。

「ショパンを聴きたくて来られる方と、僕のジャズのファンで来られる方がいらつしゃると思うんですが、ジャズ・ファンにはショパンの音楽に出会ってほしい、そして、ショパンの思いを届けたいと思いますし、クラシックを聴きにいらつしゃる方にはショパンからもらったバトンを僕が持つて走っていく、それを見ていただきたいと思います。今、ショパンが生きてたら、ひよつとしたらこんなこともやっていたかもしれないと、そんな風に感じていただけたら嬉しいですね。」

G

11/12 (金) チケット発売中!

ショパン生誕200周年
“ふたりのショパン”シリーズ
小曾根 真ピアノリサイタル

Road to Chopin featuring Yamaha CFX

19:00開演(18:30開場)

グランシップ 中ホール・大地

全席指定/S席 4,000円 A席 3,000円 学生 1,500円

■曲目/マズルカ第13番イ短調Op.17-4
ワルツ第6番変ニ長調Op.64-1「子犬」
前奏曲第4番ホ短調Op.28-4 ほか



るのは ス!

人口1,000万人ほどのヨーロッパの小国、ベルギーが世界に誇るものは、チョコとワッフルだけじゃない。実はこの国、コンテンポラリーダンスの先進国でもあるのだ。

いま、 気にな ローザ

ローザスの赴くところに興奮と絶賛あり。

ローザスを語らずして、

コンテンポラリーダンスを語ることなかれ。

ベルギーには、通称「モネ劇場」と呼ばれる王立のオペラ劇場がある。300年の歴史と名声を誇りながら、高田賢三やドリス・バン・ノッテン、クリスチャン・ラクロアら、トップデザイナーを衣装デザイナーに起用するなど、かなりモードな劇場だ。ここではオペラだけでなく、ダンスやミュージカル、コンサートなどが上演されるのだが、92年、レジデンスカンパニーを迎えるというニュースがベルギー中を沸かせた。そのカンパニーこそ「ローザス・ダンスカンパニー」だったのである。

今やコンテンポラリーダンスで世界に知られるローザスの結成は1983年。芸術監督を務めるのは、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル。名作「ボレロ」をはじめ、20世紀ダンスシーンを牽引したモーリス・ジャールに学び、独特の世界観を示す女性振付家だ。ケースマイケルのもと、ローザスはまたたく間にトップ・カンパニーへと躍進。パリのオペラ座、ニューヨークのリンカーンセンターなど、ローザスの赴く先々には決まって興奮の喝采あり。何を隠そう、90年代の日本のコンテンポラリーダンス・ブームも、実は89年のローザス初来日から始まったものなのだ。

ローザスは、音楽的な構造と身体的な構造の関係について絶えず周到な探求を重ねており、それゆえの創作の特異性、斬新さが魅力の一つであるともいえる。日常的な、あるいは小さな動きの繰り返しにターンやジャンプを織り交ぜ、さらに音楽と融合したり、対立したり、呼応したりすることによって創りだされる多様な身体的な言語は、このカンパニーの身上。そのパフォーマンスを目の当たりにするたびに衝撃を受け、「次」が気になるのもローザスならではの。そのローザスがこの秋日本に、それも静岡にやってくるというのだ。

What's Rosas?

e Teresa De Keersmaecker

Jerome Bel

身体が語る言葉を巧みに編み、
ひとつの詩を奏でる!

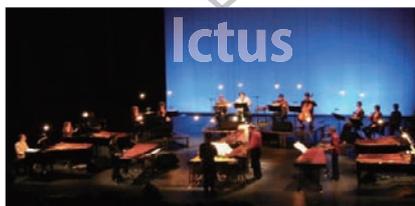
アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル

ローザス芸術監督。モーリス・ベジャールのムードラ(ブリュッセル)、ティッシュ・スクール・オブ・アーツ(NY)で学ぶ。83年にムードラで学んだ4人の女性ダンサーでローザスを結成し、『ローザス・ダンス・ローザス』でデビュー。以来、ブリュッセルを拠点に、音楽と身体の構造的関係を探求しつつ常に刺激的な作品を発表し続け、80年代以降のダンス・シーンを世界的にリード。04年、細川俊夫作曲、大野和士指揮によるオペラ『班女』の演出を手がけた。

身体表現にコンセプチュアルな
言葉をミックス!

ジェローム・ベル

世界的に活躍するダンサー、振付家。フランス国立現代舞踊センター・アンジェで学んだ後、85年～91年、フランスやイタリアの振付家作品に数多く出演。92年のアルペールビル五輪では開会式・閉会式の演出を担当したフィリップ・ドゥクフレの助手を務める。94年に最初の振付作品を発表して以降、多数の作品を発表。01年の代表作『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』は、05年のニューヨーク公演においてベッシー賞を受賞。64年フランス生まれ、現在パリ在住。



世界最高レベルの現代音楽
アンサンブルもベルギーから!

アンサンブル・イクトゥス

世界を代表するベルギー・ブリュッセルの現代音楽アンサンブル。96年からジョルジュ=エリ・オクトールが指揮者を務める。テーマ性の強い演奏会で知られ、スティーヴ・ライヒなど、数多くの現代作曲家の作品を演奏。04年からフランス・リールのオペラ座のレジデンス・アンサンブルを務めている。

マーラーの『大地の歌』
第6楽章について、少し解説。

グスタフ・マーラー作曲の『大地の歌』は、管弦楽伴奏歌曲集、あるいは声楽を伴う交響曲とも位置づけられる。西欧では珍しく、李白や孟浩然、錢起など中国詩人の詩がテキスト(ドイツ語訳: ハンス・ベートゲ)として使われている。今回の作品のもとになった第6楽章「告別」も、惜別の友を待つ孟浩然の詩と、日本でもよく唱われる王維の詩が巧みにつなぎ合わされており、「悠久の大地にくらべたら、人生は儂い」という唐詩の無常観がとくに顕著な楽章であるともいえる。

NPO法人 駿河裂織倶楽部

その風合いのごとくしなやかに
次代に継いでいくために。

古布を細かく裂いて織り上げる「裂織」は、地方によって手法や素材が少しずつ異なる。蒲原に昔から伝わる「駿河裂織」は、しつとりとした古布を駿河湾から吹く潮風を利用して裂き、細い糸を一本加えて織るもの。よくある裂織にくらべてとても柔らかく、丈夫なのが特徴だ。

そして、一時は途絶えたともいわれた

駿河裂織を再興させ、次代に繋いでいくと取り組んでいるのが、この「駿河裂織倶楽部」である。現在は市からの委託もあり、蒲原本陣前の元旅館を拠点として活動。「お休み処」と看板を掲げたここでは駿河裂織をはじめ、地場産品が並び、四季折々の多彩な体験メニューも用意している。さらに小・中・養護学校でのボランティア講習など、伝統文化交流にも積極的に。布を捨てることなく最後まで活かした新たな用途へと甦らせる文化の担い手は、その風合いのごとくとしなやかだ。



えぬびーおーほうじん するがさきおりくらぶ

- 団体名 / NPO法人 駿河裂織倶楽部
- ジャンル / 美術
- 会員数 / 44名
- 代表者 / 朝原 智子
- 活動拠点 / 静岡市(清水区蒲原)
- 活動エリア / 静岡県全域
- 実績 / 1998第11回地域文化活動賞奨励賞、2005芸術文化伝承金賞、2006夢の伝承者大賞、2007平成18年度第20回地域文化活動賞、インスブルグ国会議事堂副総長賞ほか。今年9/14(火)~20(月・祝)県立美術館にて「静岡裂織公募展」開催
- U R L / <http://web.thn.jp/surugasakiori/>

ローザス静岡初上陸。
注目の作品はコレだ!

『3Abschied ドライアップシート(3つの別れ)』
『3Abschiedドライアップシート(3つの別れ)』は、ローザスを率いるアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと、ヨーロッパのダンス・シーンで活躍するコンセプチュアル・アーティスト&振付家のジェローム・ベルが出会い、コラボした最新作(今年2月初演)だ。今年生誕150年を迎えたマーラーの大作『大地の歌』の中で最も長大な最終楽章(第6楽章)「告别」(Der Abschied)を題材とし、世界に誇るベルギーの現代音楽アンサンブル、イクトウスが演奏し、メゾ・ソプラノの独唱、ローザスのダンス・パフォーマンスがからむという趣向。夕べの情景と友との別れを3つの部分から描いた実験的作品は、ダンスファンはもとより、音楽ファンにも必見の舞台だ。

Anne Teresa De Keersmaeker / Jerome Bel / Ictus

Rosas 3Abschied

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル + ジェローム・ベル + アンサンブル・イクトウス
ローザス『3 Abschiedドライアップシート(3つの別れ)』

11/2 チケット発売中

18:30開場 19:00開演 グランシップ中ホール・大地
全席指定 前売 / S席 6,000円 A席 4,000円 学生 2,000円
(当日券は各500円増) *未就学児童入場不可

■ 静岡県内の中高生を無料招待!(先着20名)
■ 申込先 / (財)静岡県文化財団 企画制作課 TEL.054-203-5714
主催 / 財団法人静岡県文化財団 後援 / ベルギー王国大使館、ベルギー・フランドル交流センター、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、東京日仏学院 助成 / 財団法人地域創造 平成22年文化庁芸術拠点形成事業

お得なローザス&Noismセット券

SPAC(静岡県舞台芸術センター)で来春上演される、日本を代表する新潟市民芸術文化会館専属のダンスカンパニーNoismの最新作チケットとセットで買うと1,000円お得です。

Noism公演 ◎日 時 / 2011年3月19日(土) 18:00~ 20日(日) 16:00~
◎会 場 / 静岡芸術劇場 ◎演出・振付 / 金森穂

セット料金 ローザス前売券S席6,000円+Noism4,000円=10,000円▶**9,000円!**
(グランシップチケットセンターのみの扱いになります。Tel.054-289-9000)

上岡 敏之(かみおか としゆき)

東京芸術大学で指揮、作曲、ピアノ、ヴァイオリンを学んだ後、ハンブルク音楽大学に留学し、クラウスペーター・ザイベルに指揮を師事。キール市立劇場から歌劇場でのキャリアをスタートさせ、エッセンの市立アルト劇場の第一カペルマイスターを経て、ヴィースバーデンのヘッセン州立歌劇場の音楽総監督を8年間務めた。北西ドイツフィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者も歴任する傍ら、バンベルク響、ケルン放響、バイエルン放響、シュトゥットガルト放響、N響、読売日響、新日フィルなど、国内外で数多くのオーケストラに客演。04/05年シーズンよりヴッパータール市の音楽総監督としてオペラ、コンサートの両面で成功を収め、きめ細かい解釈による高い音楽性は、マスコミと聴衆双方に絶賛された。07年10月には日本ツアーを行い、その成果を披露。09/10年シーズンからは、ヴッパータール響の首席指揮者を継続しつつ、ザールブリュッケン市にあるザールランド州立歌劇場の音楽総監督に就任。また、04/05年の冬学期よりザールブリュッケン音楽大学の指揮科正教授の要職にもある。07年第15回渡邊暁雄音楽基金音楽賞・特別賞を受賞。



音楽が好きになり、やがて嫌になり、そして、今、世界の音楽界の真ん中に。

氏の音楽人生は常に順風満帆、というわけではなかったらしい。幼稚園の時、「たんぼ組の先生が弾くピアノが好きだった」少年は、やがて芸大に入学するも絶えず違和感を感じていたという。「あれはダメ、これはダメといわれながら、レッスンの最後にはありがとうございまして頭を下げる。マゾ的な授業ですよね(笑)」結局、在学中はまったく評価されず、大学院への進学試験は落ち、コンクールにも落選。露骨な意地悪も受けた。「私としてもこういう人たちとやるのは嫌だなあ」とホテルに就職。そんな氏を留学に向かわせたのは、音楽への情熱よりもむしろ幼い頃から抱いていた外国への憧れだったという。

すると留学先のドイツで人生が一変。「日本ではあんなにうまくいかなかったのに、ドイツではあれっと思うほどスムーズだった。気持ちラクになって、たんぼ組の楽しさが甦ってきたんです」。毎日3マルクの学生席でオペラを見て、まもなく仕事も得た。その後、歌劇場のキャリアを重ねつつ、現在は大学では指導にもあたる日々。実際には議会に出席したり、人に会ったり、書類にサインをしたりと「音楽以外の仕事」が90%なのだという。

意外なことにドイツでは小学校から音楽が選択科目になっていて、さらに氏が住む街は大小400もの宗教が混在している。「市の中でいろんな音楽が共存できるように図り、振興に務めるのも私の大事な仕事のひとつです」

上岡敏之 指揮

ヴッパータール交響楽団 10/8(金)

19:00開演(18:30開場) 中ホール・大地

全席指定 S席9,000円 A席7,000円 B席5,000円 学生席3,000円

静岡県内の中高生を無料招待!(先着20名) 申込先/(財)静岡県文化財団 企画制作課 TEL.054-203-5714

Richard Wagner

オール・ワーグナー・プログラム

◆序曲「ファウスト」 ◆ジークフリート牧歌

◆楽劇「ニーベルングの指環」ハイライト

「ラインの黄金」より ワルハラ城への神々の入場

「ワルキューレ」より ワルキューレの騎行、ヴォータンの別れと魔の炎の音楽

「ジークフリート」より 森のささやき

「神々の黄昏」より ジークフリートのラインへの旅、ジークフリートの死と葬送行進曲



Sinfonieorchester Wuppertal

REPORT

●「上岡敏之 指揮 ヴッパータール交響楽団」事前レクチャー 於：グランシップ地階リハーサル室 平成22年8月3日

上岡敏之のオーケストラ塾 音楽人生、ワーグナーを語る

芸大を卒業後、帝国ホテルのフロント係に…そんな異色の経歴が取りあげられるのも世界的な音楽家であるからこそ。指揮と作曲、ピアノ、ヴァイオリンを学び、現在、ドイツのヴッパータール響の首席指揮者とザールランド州立歌劇場の音楽総監督を兼任。ザールブリュッケン音楽大学の指揮科正教授でもある。すなわち音楽の創造と教育、文化振興を担う、そんな多忙なマエストロが秋の公演を前に来静。SPAC芸術総監督の宮城聡を聞き手に、自身の音楽人生をはじめ、ワーグナーや今回のプログラムについてしなやかに語った。



ワーグナーの音楽から、演奏から一つのストーリー、楽劇を描いてもらえたら。

この秋、グランシップでの公演は「オール・ワーグナー・プログラム」。作曲家であり、指揮者でもあったワーグナーを氏は「うらやましい」という。「私が一番なりたかった職業は作曲家で、二番目がピアニスト、第三志望が指揮者だったんです」 ピアノについてはこの夏、ソロのピアノ・アルバムをリリース。シヨパンが大好きといい、実際、基金集めや予算獲得のためにピアノを弾く機会も多い。「ピアノが弾ける指揮者は、音を読んで作品を勉強しているからいい加減な仕事をする人はいない。良心的な人が多いと思いますよ(笑)」

メイン・プログラムというべき「ニーベルングの指環」は、音楽史上最大規模の壮大な作品。全世界支配を可能にする指環をめぐって、英雄ジークフリート、小人族ニーベルング、ヴァルハラ神々、巨人族らが争う物語だ。

「叙事詩から発展させて、ワーグナーが自分の世界を作りだした作品であるといえると思います。創作に二十数年の歳月をかけてきて、さっとワーグナー自身にも成長があったはず。冒頭で聴いていた序曲(ファウスト)も叙事詩が元になっていて、ストーリー的にも関連があり、同じようなメロディも出てくる。そのあたりも含め、心や頭の中に楽劇を組み立てていただけたら幸せです」



・「今回のように自分のオーケストラで振るのが一番。客演は苦手です。コンクールもそうですが、短期間で仕上げるというのがどうも向いていないですね」(レクチャー前のインタビューにて/グランシップ12階特別室)

夏の暑い日、かねてよりの夢を果たすつもりで、同級生の友人二人とともに清水港橋のたもとにある、「ふじや釣舟店」に頼み込んで舟に乗り、巴川を下って折戸湾に出て、三保岬が見えるあたりで錨を降ろし、黒鯛釣りと洒落込んだ。

私は、中学生の頃から、東京の叔父がやって来るたびに、折戸湾での黒鯛釣りに連れて行ってもらった。おから、サナギ、ガラスの粉、砂利を混ぜ合わせてねったものを鉛の錘を芯にして団子状に握り、針に活きエビをつけて水中へ落とす。それが十五メートルほどの底に着いたところに、団子が解けて散るように落とす呼吸がむずかしい。この団子は清水では「こまし」と言い、魚を集めるための独特のやり方だ。今では他の地方でも見られるというが、興津へ避暑に来ている東京の旦那衆が、折戸湾の黒鯛釣りを楽しんだ頃の釣り方であったとも言う。

ようやく黒鯛を釣っても、魚屋では受け取ってもらえず、仕方なく焼いたのをそばろにして鯛めしで食べたが、その鯛めしは旨かった。現在は黒鯛はちぬと称して、その独特の味の刺身がよるこばれるが、当時は刺身で食べる習慣がなかった。体臭が強く、くせがある味というので、魚屋に並ぶ魚ではなかったのだ。

その折戸湾での黒鯛釣りを、私は高校を卒業するまでけっこうやったが、ついに釣りの腕は上がらなかった。釣り名人には短気が多いという言葉に励まされて取り組んだものだったが、何の役にも立たぬ短気もあるらしい。したがって大漁などもちろんおぼつかず、何も釣れずに帰ることが多かった。ただ、あれを

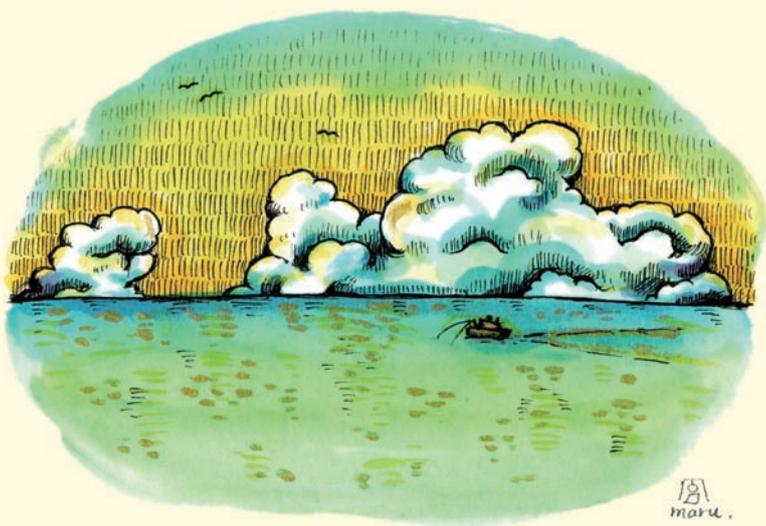
釣舟で木遣を聴く

舟で巴川から折戸湾へ出て、舟の上で半日ばかりのんびりする舟遊びと考えると、まことに贅沢な世界ではなかったかと、清水から遠ざかってから思い返した。今回は、その舟遊びの夢を実現するのが目的で、釣りは二の次という、釣師からは叱られそうな目論みだった。

そして、その道連れとして選んだのが、中学生のときの同級生、「材木屋の大橋くん」と、「東京屋靴店の石垣くん」だった。大橋くんは材木屋だけあって早くから木遣歌に興味を抱き、木遣をやる会に入って腕をみがき、石垣くんまでさそってしまった。この二人が、生じらすを食べる会“などのたびに、座敷で木遣を歌ってくれるのだが、何しろ二人とも声大きい。この二人を舟に乗って巴

川へさそい出してしまえば、いくら声がかくても世の中に迷惑をかけることはないだろう……そんな、一石二鳥を企んでの今回のプランだったのである。

その結果、巴川から羽衣橋をくぐって折戸湾に出た瞬間、急にけしきが広がって、富士山、三保岬、日本軽金属、金指造船所、かすかにかすむ伊豆半島などをいちどに見わたしたかつての風景が、現実となつてあらわれた。それに二人の同級生の木遣を聴きながら巴川を下る風情は、むかし材木を巴川で駿府へ送った清水みなとに縁のある者として、まことに特権的気分と言ってもよかった。そんなわけで、私のいっていた舟遊びの夢が、かつてよりも贅沢に実現したのでありました。



maru.

【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。「時代屋の女房」で直木賞、「鎌倉のおばさん」で泉鏡花賞受賞。





公演情報

2010/9-2011/1

※8月現在の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。



チケット発売中

10/15

G S SF

提携公演/シンフォニエッタ 静岡 第16回定期演奏会 ～シャルリエの芸術～

ヴァイオリンのオリヴィエ・シャルリエ(パリ音楽院教授)を迎え、日本初演作品をはじめ、バッハの『G線上のアリア』、ヴィヴァルディの『四季』の超名曲を愉しむひととき。

- 19:00開演(18:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 SS席 完売 S席 6,000円
A席 5,000円 B席 4,000円 C席 3,000円
D席 2,000円 車椅子席・親子席 2,000円
学生席(S席～D席 25歳未満) 半額
- 問合せ/シンフォニエッタ 静岡チケットセンター
TEL054-204-7778



チケット発売中

10/16

G CN L Lコード43558 P Pコード107-714 S

ムノツィル・ブラス ～Magic Moments～

→P10～参照



©Julia wesely

ウィーンの居酒屋ムノツィルで始まったジャムセッションがいつしか世界中を熱狂と爆笑の渦に巻き込むバンドに! 完璧なアンサンブルと抱腹絶倒のパフォーマンスがついにグランシップに登場!

- 17:00開演(16:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 S席 4,500円 A席 3,500円
学生 2,000円



事前申込制

10/16

ムノツィル・ブラス公開クリニック

- 13:30～ ■中ホール・大地
- 観覧無料(事前申込制、先着順)
- *申込方法/ (財)静岡県文化財団 企画制作課まで
TEL、FAX、メールにてお申し込みください。
TEL:054-203-5714 FAX:054-203-5716
e-mail:info@granship.or.jp



チケット発売中

10/30

G CN L Lコード43507 P Pコード404-484 S

しずおかちゃっきり寄席

→P9～参照

- 13:30開演(13:00開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 S席 2,500円(学生 1,500円)
A席 1,500円(学生 800円)



事前申込制

10/3

静岡の映画文化講演会

デジタル映画撮影機材の展示から、映像の編集体験、シネマ・ミニコンサートなど。

- 【講師】斉藤隆(元静岡営業本部長)
- 12:00～16:00 ■6階 交流ホール
- 入場無料(事前申込制、先着200名)
- *申込方法/TEL、FAX、メール、郵送いずれかも可。
(財)静岡県文化財団 企画制作課
〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4
TEL:054-203-5714 FAX:054-203-5716
e-mail:info@granship.or.jp



チケット発売中

10/8

G CN L Lコード43557 P Pコード107-710 S

上岡敏之指揮 ヴッパータル交響楽団

→P20～参照

上岡敏之が首席指揮者を務めるドイツのヴッパータル交響楽団との2度目の日本ツアーが実現。得意のワーグナーをたっぷり。

- 19:00開演(18:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 S席 9,000円 A席 7,000円
B席 5,000円 学生席 3,000円



チケット発売中

10/10

G CN L Lコード43252 P Pコード403-840 S

グランシップ伝統芸能シリーズ 人形浄瑠璃「文楽」

→P4～参照



曾根崎心中 天神森の段 仮名手本忠臣蔵 早野勘平腹切の段

- 300年の歴史を持つ「文楽」は、世界に誇る日本の伝統芸能。太夫、三味線、人形の三位一体の技は必見。県内ではグランシップだけ!
- 【演目】昼の部/「仮名手本忠臣蔵」、「釣女」
夜の部/「曾根崎心中」
- 昼の部/13:30開演(13:00開場)
夜の部/18:30開演(18:00開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 一般 3,500円 学生 1,500円
昼夜通し券 一般 6,300円 学生 2,500円



事前申込制

10/10

わかる! 文楽入門講座

当日出演の人形遣いによる実演を間近でご覧いただけます。また実際に人形を操る体験も!ここだけでしかない貴重な体験をどうぞ。

- 17:00～17:30(受付は16:30より)
- 2階 映像ホール
- 対象 文楽公演チケットご購入の方
- 無料(事前申込制、先着90名)
- *申込先/ (財)静岡県文化財団 企画制作課
TEL:054-203-5714



事前申込制

9/18

グランシップ伝統芸能シリーズ 特別イベント 山川静夫の

「文楽ここがみどころ・ききどころ」
静岡市出身で元NHKアナウンサーの山川静夫が、文楽のここに注目するとおもしろいというポイントをわかりやすく解説します。

- 14:00～ ■9階 910会議室
- 入場料 500円(事前申込制、定員になり次第締切)
- *申込先/ (財)静岡県文化財団 企画制作課
TEL:054-203-5714 FAX:054-203-5716
e-mail:info@granship.or.jp

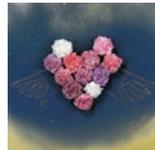


入場無料

9/18・26

グランシップ 自由芸術祭 NHKハート展

「自由芸術祭」では、県内特別支援学校の生徒・児童たちによる作品を紹介。障がいを持つ人々が綴った50編の詩に各界著名人がアートを添えた「NHKハート展」も同時開催。ぜひ、心で鑑賞してほしい9日間。



平原綾香(歌手)

- 10:00～17:00(入場16:30まで)
- 6階 展示ギャラリー ■入場無料



チケット発売中

9/19

G CN L Lコード43554 S

グランシップ自由芸術祭 ふれあいトリオ～吉田恭子と仲間たち～

ヴァイオリン、チェロ、ピアノによる音楽会。音楽に合わせて手足を使った遊び「ボディパーカッション」にも参加しよう。ロビーではヴァイオリン体験も。

- 【曲目】エルガー/愛のあいさつ、リスト/愛の夢第3番
マスネ/タイスの瞑想曲 ほか
- 14:00開演(13:30開場) ■6階 交流ホール
- 全席自由 500円



吉田恭子(ヴァイオリン) ©岩切 等

渡部玄一(チェロ)

白石光隆(ピアノ) ©岩切 等



チケット発売中

9/23(木)

G CN L Lコード43554 P Pコード107-703 S

生誕200周年記念 “ふたりのショパン”シリーズ 仲道郁代 ピアノ・リサイタル Chopianism

- 14:00開演(13:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 S席 4,000円
A席 3,000円 学生 1,500円



©Katsuro Ueda



ボランティアスタッフによる託児をご希望の方は、公演1週間前までに(財)静岡県文化財団企画制作課までご連絡ください。☎054-203-5714
※お預かりできるのは、2歳以上の未就学のお子様に限ります。※イベントによっては、託児サービスが利用できない場合もございます。



事前申込制

2011.1/7

静岡ガスPresents グランシップ&静響 ニューイヤーコンサート

恒例のニューイヤーコンサート。参加申込受付中!

【演奏】静岡交響楽団

■昼の部 / 14:00開演 (13:30開場)

夜の部 / 19:00開演 (18:30開場)

■中ホール・大地

■全席指定 / 要事前申込 1,000円

*申込方法 / 往復はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数(2名まで / 小学生以上)、希望する公演(昼の部・夜の部)を明記、返信用はがきにも郵便番号、住所、氏名を明記の上、12月1日(水) (必着)までに下記の宛先へお送りください。

〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4

グランシップ「ニューイヤーコンサート」係

※応募者多数の場合は抽選になります。

※応募結果は、返信はがきで12月20日頃に発送予定。



10/23日チケット発売

2011.1/23

G CN Lコード45552 Pコード405-902 S

グランシップ伝統芸能シリーズ グランシップ静岡能

【演目】能「藤戸」 能「紅葉狩」

■14:00開演 (13:30開場) ■中ホール・大地

■全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円

学生 2,000円

→P4~参照



10/17日チケット発売

2011.2/6

G CN Lコード45859 Pコード115-026 S

グランシップスイングジャズクラブ 世界のダンス音楽名曲集

踊ってよし、聴いてよし。タンゴ、ワルツ、チャチャチャ、サンバ等懐かしのダンス音楽で世界をめぐる。

【曲目】Let's Dance 他

【ホストバンド】

奥田「スイングー」英人&ブルースカイ オーケストラ

【ゲスト】ミッキー・カーチス (Vo)

京谷弘司 (バンドネオン)、納見義徳 (ラテンPer)

杉本喜代志 (G)、テディ池谷 (P)

■16:00開演 (15:30開場) ■大ホール・海

■ダンス席 (1階) シングル 5,000円 ペア 9,000円

■鑑賞席 (2階~) S席 3,000円 A席 2,000円

学生 1,000円



事前申込制

2011.2/5・6

ジャズクリニック参加者募集

■練習日 2/5(土) 13:00~18:00

2/6(日) 10:00~12:00

■参加費 一般 5,000円 学生 3,000円

■募集パート トランペット、トロンボーン、サクソ

ドラムス、ラテンパーカッション、ベース

ピアノ 等

*申込方法 / グランシップホームページから申込用紙をダウンロード。もしくは、(財)静岡県文化財団企画制作課まで問合せ。TEL:054-203-5714



事前申込制

1/21

2010年しずおか連詩の会

5人の詩人が5行と3行の詩を連ねていく、グランシップ秋恒例の連詩の会。発表の席では詩人本人による朗読と解説も。

【参加者】

野村喜和夫

四元康裕

田原(でんげん)

大岡亜紀

覚 和歌子



昨年の様子

■14:00開演 (13:30開場) ■会議ホール・風

■入場無料 (要事前申込)

*申込方法 / 往復はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数を明記、返信用はがきにも郵便番号、住所、氏名を明記の上、10月29日(金) (必着)までに下記の宛先へお送りください。

〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4

グランシップ「しずおか連詩の会」係

※応募者多数の場合は抽選になります。

※応募結果は、返信はがきで11月中旬に発送予定。



チケット発売中

12/5

G Pコード119-325 S SF

提携公演 / 静岡交響楽団

TOKAIグループPRESENTS

第45回定期演奏会 県民参加による歓喜の歌 第九コンサート

毎年恒例の第九のコンサートを今年も開催。一年の歌い納めに、聴き納めに。

【指揮】手塚幸紀

【ソリスト】清水亜矢 (ソプラノ)

布施奈緒子 (メゾソプラノ)

川久保博史 (テノール)、服部英生 (バリトン)

【管弦楽】静岡交響楽団

【合唱】県民参加による特別第九合唱団

【曲目】交響曲第9番ニ短調 Op.125「合唱付」(ベートーヴェン)、ふるさとしずおか「こころのうた」(編曲:杉浦邦宏)

■14:30開演 (14:00開場) ■中ホール・大地

■全席指定 一般 3,500円 学生席 1,000円

■問合せ NPO法人 静岡交響楽団

TEL:054-203-6578



9/26日チケット発売

12/19

G CN Lコード45858 Pコード115-108 S

グランシップジャズライブ

クリスマス・スペシャル

Eiji³ (エイジキューブ)

年齢もスタイルも違うジャズクラリネット奏者たちだが、その名はいずれも「エイジ」。北村英治、花岡詠二、谷口英治の「エイジキューブ」がおくる、ハッピーでオシャレなクリスマスはいかが?

【曲目】Winter Wonderland

Santa Claus is Coming to Town 他

■16:00開演 (15:30開場)

■6階 交流ホール

■全席指定 一般 5,500円 学生 2,500円



チケット発売中

11/2

G CN Lコード43508 Pコード404-498 S

ローザス『3Abschied ドライアップシート(3つの別れ)』

■19:00開演 (18:30開場)

→P16~参照

■中ホール・大地

■全席指定 S席 6,000円 A席 4,000円

学生 2,000円



チケット発売中

11/12

G CN Lコード43559 Pコード107-716 S

生誕200周年記念

“ふたりのショパン”シリーズ

小曾根 真 ピアノ・リサイタル Road to Chopin featuring Yamaha CFX

■19:00開演 (18:30開場)

■中ホール・大地

■全席指定 /

S席 4,000円

A席 3,000円

学生 1,500円

→P11~参照



©Kiyotaka Saito



チケット発売中

11/20・21

G S O

提携公演 / 静岡フィルハーモニー管弦楽団
親子三代のための特別公演

「窓ぎわのトットちゃん」と オーケストラのはなやかなひびき

黒柳徹子原作、小森昭宏作曲の音楽劇「窓ぎわのトットちゃん」。また、「ドラゴンクエスト」など子どもたちの身近な曲でオーケストラの華やかな響きをお楽しみください。

【指揮】海老原 光

【語り】鈴木靖子

■11/20 17:00開演 (16:30開場)

11/21 14:30開演 (14:00開場)

■中ホール・大地

■全席指定 大人 1,500円

小人 (4歳~18歳) 500円

■問合せ NPO法人 静岡フィルハーモニー管弦楽団

TEL:054-278-9515



事前申込制

12/4

グランシップ出前公演

宝井馬琴の家族で楽しむ講談教室

普段なかなか足を運ばない方々のために、グランシップがあなたの街で出前公演。講談師・宝井馬琴による講談教室で、家族で日本の伝統話芸の魅力を体感してください。

■14:00~ ■御殿場市民会館

■参加無料

*申込方法に関しては、御殿場市民会館

TEL:0550-83-8000にお問い合わせください。

JUST FINISHED!



子供のためのシェイクスピアカンパニー 29.Aug. 2010

中ホール・大地での「子供のためのシェイクスピア『お気に召すまま』」終演後。

読者 Presents

サイン入りCD&チケットプレゼント!



11/12開催の「小曽根真ピアノリサイタル」より小曽根真サイン入り最新アルバム『Road to Chopin』を1名に、また、来演1/23開催の「グランシップ静岡」よりS席ペアチケットを2組にプレゼント。ハガキに住所、氏名、電話およびプレゼント名を明記の上、下記にて郵送。(平成22年11月末日消印有効)なお、当選者は商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係
TEL054-203-5714

MEMBERS 「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費 (初年度年会費は入会月に異なりします。)

- ◆レギュラー会員 年会費 2,000円
- ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

■特典

- ◆チケット割引10%割引
- ◆チケット先行予約
- ◆公演情報誌送付
- ◆提携店割引
- ◆法人会員特典 (情報誌上及びグランシップ館内に社名掲載)

(チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可)

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階
TEL.054(203)5714 FAX.054(203)5716

〈友の会法人会員〉

静岡ガス(株)、(株)タミヤ、鈴与(株)、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ、(株)劇団ひまわり、(株)ステージ・グループ、静岡県ビルメンテナンス協同組合、静岡信用金庫、(株)ビーエーシー、(株)テレビ静岡、(株)静岡第一テレビ、コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)、ダイドードリンコ(株)静岡支店、(株)イノウエテクニカ、(株)伊藤園、静岡エフエム放送(株)、(株)ニッセイ日本平ホテル、(株)コアズ、公立大学法人静岡文化芸術大学、(株)静岡朝日テレビ

財団法人 静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

SPAC 秋のシーズン2010 9月・12月

SPAC×6人の演出家



平凡に幸せ、って
本当ですか?
だったらなぜ、
日本中に
幸せがあふれていないの?

ユメミルチカラ - REVE DE TAKASE -

振付・演出:メルラン・ニヤカム 出演:スパンファン
9月4日[土]、5日[日] 静岡芸術劇場

令嬢ジュリー

演出:フレデリック・フィスバック 作:アウグスト・ストリンダベリ 訳:毛利三彌 出演:SPAC
10月2日[土]、3日[日]、9日[土]、10日[日]

高校生鑑賞事業(一般販売限定30席) 10月7日[木]、8日[金] 静岡芸術劇場

わが町

演出:今井朋彦 作:ソントン・ワイルダー
出演:SPAC
10月30日[土]、31日[日]、11月6日[土]、7日[日]、13日[土]、14日[日]

中高生鑑賞事業(一般販売限定30席) 10月25日[月]、29日[金]、11月2日[火]、4日[木]、5日[金]、9日[火]、10日[水]、12日[金]
静岡芸術劇場

世界は踊る ~ちいさな経済のものがたり~

作・演出:バスカル・ランベール 共同演出(静岡公演):大岡淳
10月23日[土]、24日[日] 舞台芸術公園 野外劇場「有度」(雨天決行)

しんしゃく源氏物語

演出:原田一樹 作:柳原政常 出演:SPAC
11月27日[土]、28日[日]、12月4日[土]、5日[日]

中高生鑑賞事業(一般販売限定30席) 11月30日[火]、12月1日[水]、2日[木]、3日[金]、6日[月] 静岡芸術劇場

朗読とピアノの午後

演出:大岡淳 出演:SPAC
11月20日[土]、21日[日]
12月18日[土]、19日[日]
■静岡芸術劇場1階ロビー

リア王

4カ国語版(ドイツ・アメリカ・韓国・日本)
演出:鈴木忠志 原作:シェイクスピア 出演:SCOT
12月11日[土] ■静岡芸術劇場

有度サロン公開講座

12月5日[日]、12日[日]
■舞台芸術公園 屋内ホール「楳内堂」

インド古典舞踊劇

出演:カピラウエス、ナタナカイラリ
10月16日[土]、17日[日]
■舞台芸術公園 屋内ホール「楳内堂」

早池峰岳神楽

演出:早池峰岳神楽保存会
12月4日[土]
■舞台芸術公園 屋内ホール「楳内堂」

SPAC SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER
芸術総監督 宮城聡

●電話予約/SPACチケットセンター tel.054-202-3399 ●ウェブ予約 <http://www.spac.or.jp>

TOPIC-1

カンボジア大使、知事が写真展オープニングに出席。



日本カンボジア間友好条約締結55周年を記念した『森に守られた都市アンコール～世界文化遺産アンコール遺跡群写真展～』（7/24～8/8）が開催され、オープニング式典には、ホー・モニロット在日本国カンボジア王国特命全権大使、川勝静岡県知事が出席。大使と知事は写真展をきっかけに両国の交流促進を誓った。

TOPIC-2

大オーケストラ&大合唱。今年も「音楽の広場」開催。



県内ゆかりの演奏家300人による『グランシップ音楽の広場』が8/1、今年も多くの聴衆を集めて大ホールで開かれた。地元の合唱団員ら200人、ダンサー100人も登場。指揮者の広上淳一を円形に囲み、およそ20曲を披露。フィナーレでは、ホルスト「ジュピター」のメロディに山部赤人の万葉の歌を乗せたテーマソング「不尽の山を望む歌」を観客も交えて大合唱した。

TOPIC-3

赤ちゃんも劇場体験「世界のこども劇場2010」



7/27～29の3日間、デンマーク、スウェーデン、セルビア、イタリアから4つの演劇作品がグランシップに登場。ふだんは劇場に来ることのない赤ちゃん、幼児を対象とした上質なパフォーマンスに子どもたちは夢中に、大人からは賞賛の声が沸いた。

TOPIC-4

理想の学校図書館とは？ 研究発表、シンポジウムなど。



学校図書館のあり方を研究する「第37回全国学校図書館研究大会 静岡大会」が8/4～6、中ホール、交流ホール、会議ホールほかで開催。静岡県では初めての開催で、小・中・高校の図書館司書や教職員、読み聞かせボランティアなどが全国から参加。研究発表や討議、シンポジウムのほか、一般参加も交えての講演会には柳田邦男、赤川次郎、落合恵子各氏らが登壇した。

TOPIC-5

園児と家族のための楽しいコンサート。



静岡地区私立幼稚園PTA連合会主催による「平成22年度ちびっこ祭り ファミリーコンサート」が8/19、大ホールにて行われた。静岡ユース吹奏楽団テイクズ、ソプラノ歌手妃乃（きみの）が出演し、ディズニーメドレーやアニメソング、童謡等を演奏。園児とその家族約1,200人は、約1時間のコンサートを元気に歌い踊って楽しんだ。

TOPIC-6

まもなく募集スタート！「静岡の魅力 第6回フォトコンテスト」



第5回受賞作 最優秀賞「祝い船」中澤 仁（静岡県沼津市）

「静岡の魅力第6回フォトコンテスト」の作品募集がまもなくスタート。最優秀賞／賞金50万円
審査委員／大竹省二、山本晋也ほか
問合せ／(財)静岡県文化財団
企画制作課 TEL.054-203-5714

TOPIC-7

静岡のアーティスト応援企画 アートコンペ2011

グランシップでは、静岡県在住または出身者を対象に大ホール側のショーウィンドウを飾る作品を募集する。

【ジャンル】不問。ただし未発表作品。

展示レイアウトも審査に含む。

【副賞】賞金30万円（展示・施工費込）

【募集期間】11月～12月下旬

問合せ／(財)静岡県文化財団

総務課 TEL.054-203-5710

TOPIC-8

あなたもサポーターに。2010年度メンバー募集中

「グランシップ」を支えるボランティアスタッフ「グランシップサポーター」の新規メンバーを以下の通り募集。性別・年代不問。気軽にご応募を。

*10/31締切

- イベント業務20名／イベント時に活動
公演時の受付・場内案内・ドア係など
- 託児業務10名／イベント時に活動
公演時の託児対応 ※要保育士資格
- 文化情報運営ボランティア10名／静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」運営・管理

【対象】県内在住で18歳以上（高校生を除く）、月2回以上活動でき、事前研修に参加できる方

【活動開始】2011年4月（登録期間は5年）

【応募方法】応募用紙に必要事項を記入の上、下記あて郵送または持参を。なお、託児業務希望の方は保育士資格証明書（写し）を添付のこと。

【応募・問合せ】

〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4

(財)静岡県文化財団

企画制作課「サポーター」係

TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716

GRANSHIP SHOW-WINDOW ALBUM

人間ってステキ。大人だって十人十色のいろんな個性があって、そんな楽しい仲間が集まればうれしくなる。それぞれの人生のステージの幕が開き、ある人は静かに語る。——ここは、そんな個性の競演をテーマにした空間。（～10月上旬まで展示）



テーマ／「フェスティバル」

制作／(有)アドクック(前田ミネオ、石川智美、海野洋二)

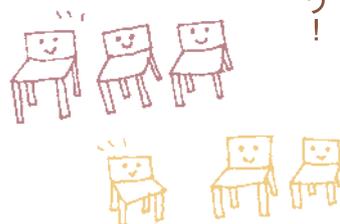
会議室でジャストな会議!



会議室

一口に会議といってもいろいろある。だから、会議室を選ぶポイントもいろいろだ。各地から参加者が集うなら、当然、アクセスのよさや駐車場は必須条件。大人数での総会スタイルなら、相応の収容力が必要だし、逆に少人数でのちよつとした打ち合わせなら、コンパクトなスペースのほうが話が進みやすくムダもない。また、オープンな雰囲気や意見交換を、と考えるなら、眺めのよさが味方になったりもする。もちろん机や椅子の配置によっても、その質は左右される。研修やセミナーを兼ねる場合はスクリーン形式が一般的だが、お互いの顔を見ながら、というのなら、口の字型や舟形などがおすすめ。グランシップには大小19の会議室があり、それぞれに特徴があるのでジャストなスペースが見つかるはず。人数と内容からはじき出した答にきつと応えてくれる、それがグランシップの会議室なのだ。

会議の質は、スペース選びで決まるから、
大小19の会議室からジャストを選ぼう!



illustrated by
AKK

グランシップじゃなきゃ! の魅力は

③

人気の口の字型の会議室!



②

少人数のミーティングに対応!



①

2室一体で使えば、300人収容も!



グランシップ最大の会議スペースは10階。2室を一体使用することによって最大300人までOKという収容力を誇っている。一方、10人規模の小スペースも2室。こちらは料金も手頃なこともあって人気が高い。同じくニーズの高いのが口の字型の1002会議室。いずれも予約状況は、ホームページでチェックできる。

会議室 概要

- 9階 / 30人用(901~903)、24人用(905~907)、72人用(904・908)、18人用(909)・138人用(910)
- 10階 / 120人用(1001-1)、180人用(1001-2)、28人用(1002)、60人用(1003)、10人用(1004)
- 11階 / 45人用(1101)
- 12階 / 10人用(1201)、48人用(1202)
- インターネット無料接続可能(モデム完備、LANケーブル貸出)
- コイン式コピー機・FAX(9階)
- 飲料水自動販売機(9階・10階・11階)



施設利用料金表

名 称	使用料 (単位:円)						
	午前 (9時~12時まで)	午後 (13時~17時まで)	夜間 (17時30分~22時まで)	午前~午後 (9時~17時まで)	午後~夜間 (13時~22時まで)	全日 (9時~22時まで)	
会 議 室	901~903、905~907、909	2,400	3,300	3,700	5,700	7,000	9,400
	904、908、1002	4,400	5,800	6,600	10,200	12,400	16,800
	910、1001-1	10,200	13,700	15,400	23,900	29,100	39,300
	1001-2	15,300	20,500	23,000	35,800	43,500	58,800
	1003、1101、1202	3,300	4,400	5,000	7,700	9,400	12,700
	1004、1201	1,500	1,900	2,200	3,400	4,100	5,600

※商業宣伝、営業等を目的として利用する場合の施設使用料は、当該区分の金額の2倍となります。

おしらせ

グランシップは、施設の定期点検のため、下記の期間全館休館となります。施設使用にかかわる予約受付等の事務処理も休館中には行いませんので、皆様のご理解とご協力をお願いします。(図書館コーナー、情報ラウンジ、チケットセンター、カフェ、レストランもお休みです。)

平成22年 10月 4日(月)~ 7日(木)
11月 9日(火)~ 11日(木)
12月 6日(月)~ 9日(木)
平成23年 1月11日(火)~ 13日(木)

ご利用についてのご案内

[申込受付]
午前9時~午後8時 ※開館時間/午前9時~午後10時

[申込方法]
電話、または当財団窓口にて。※受付は先着順となります。尚、予約受付を開始する月のお申し込みについては、事前に「抽選申し込み」を承っております。(詳細は、利用サービス課までお問い合わせ下さい。)

お申し込み・お問い合わせ

TEL 054(203)5713 FAX 054(203)6710
財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課 〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 メールアドレスyoyaku@granship.or.jp
施設の空き状況は、ホームページでも検索OK! <http://www.granship.or.jp>

[申込受付時期&連続使用可能日数]

施設区分	受付開始日	連続使用可能日数
国際会議や全国規模のコンベンション	随時	
大ホール、中ホール	利用開始日 2年前の同月初日	14日
会議ホール、交流ホール、映像ホール	利用開始日 1年前の同月初日	7日
展示ギャラリー	利用開始日 1年前の同月初日	14日
会議室、リハーサル室、練習室、グランシップ広場	利用開始日 半年前の月初日	7日



グランシップは全館禁煙となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。



グランシップは心癒されるオアシス

第1期サポーター 平常業務担当 大島 昇

私がグランシップサポーターに応募したのは、定年数年前の平成9年でした。定年後は好きな人生を歩みたいと考えていたので、興味のあ文化、芸術に触れることのできるボランティアを、というのが動機でした。

開館までの一年余りの事前研修は、建設中の現場視察、見学ガイドや接遇研修、ボランティア論など多岐にわたり、文化財団の期待の大きさに気の引き締まる思いでした。

実際の活動は、グループの皆さんとあれこれ工夫しながら業務をこなしていくのが楽しく、充実感、達成感は新鮮で清々しいものです。イベント対応は開館以来ほとんど参加し、出会いと感動を共有できて楽しみです。

また、鑑賞の機会が増え、たくさんさんの感動をもらい、文化、芸術の恩恵を受けています。昨年は開館10年の節目を迎え、サポーター活動は定着し、さらに自分のたちで映画できるサポーター自主企画へと発展しています。

私自身、成長を実感し、たくさんさんの仲間ができ、家族にも認知されて、グランシップのサポーターを選んでよかったです。改めて思っています。いまやグランシップは私の生活の一部であり、心癒されるオアシスです。



Report 049

READER'S VIEW

●「ゴールデンウィークに行きたかった「こどものくに」に行きました。一人息子（小学3年生）はとも楽しかったようです。手を使ったり、体を使ったりして自分を表現することを学んだようです。たくさんの子どもたちと共に作業をしたことも印象に残ったようです。素敵なイベントをありがとうございました。」
 〈富士宮市 みきさん〉

●娘は日本文学が大好きです。伝統文化にも興味がありますが、なかなか静岡では観る機会が限られます。まだ観たことのない人形浄瑠璃をぜひ！体験させてください。」
 〈静岡市 ユキマさん〉

●今年の5月転勤で静岡に引っ越してきました。グランシップは住居から近くにあるので興味があります。カミさんは東側から見ると本当に船のように見えると教えてくれました。先日友人が遊びに来た際、レストランで一緒に食事をしたのですが、桜えびを食材にしたメニューが選べて良かったです。」
 〈静岡市 鈴木和寿さん〉

●東静岡駅前に大きなガンダムが現れた！東静岡駅周辺は少しさびしいカシラだったのですが、これをきっかけに活気がでてくるといいなあ。」
 〈浜松市 和田順子さん〉

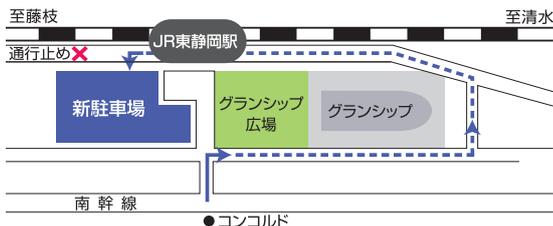
★「グランシップおよび本誌」G」に関する「意見、感想、お問い合わせなど、皆さまからのお便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。」

Editor's room.....

7月27日から8月29日にかけてグランシップでは親子で楽しめる様々な催しを実施しました。なかでもスウェーデン、カナダ、セルビア、イタリアと世界4カ国の児童・青少年のための演劇は、間近で観る洗練され、計算された簡素な舞台でのパフォーマンスが小さな子どもから大人までも魅了したようです。「私たちの舞台は教育ではありません。子ども相手と考えるのではなく、一人の人間に対するアートなのです。」スウェーデンの俳優さんのこんな言葉、そしてお互いの舞台を真剣に観る皆さんの姿は、海外の児童演劇に対する姿勢を知る機会ともなりました。また、併せて実施したカメルーンのメルラン・ニヤカムさんのダンスワークショップ、今年4回目となるイギリスのマイク・スペンサーさんの音楽ワークショップも、子どもたちの創造性、表現力、コミュニケーション力を育むものになったに違いありません。そして、今年も実施した山崎清介さん演出の「子どものためのシェイクスピア」《お気に召すまま》の舞台とワークショップは、改めて日本を代表する子どもや青少年たちに観せたい作品と実感しました。多彩な芸術を通して心から感動し、世界のあらゆる文化に出会う機会を出来るだけ多く子どもたちに届けたい...職員一同決意を新たに今年の夏でした。

グランシップ館長 田村 孝子

グランシップにお越しの際は、混雑緩和のため、公共交通機関をご利用ください。



●ACCESS 東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。